

年末年始の株価動向を探る ～指数と業種別チャートで徹底分析～

2021年12月4日

講 師

株式会社インベストラスト代表取締役
国際テクニカルアナリスト協会
国際検定テクニカルアナリスト
福 永 博 之

おことわり

本冊子に記載されている事項は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
本冊子の解説は一般的な解釈・通説を紹介したもので、その内容通りに投資したとしても投資収益があげられるとは限りません。

最終的な投資決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

なお、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

本冊子に掲載されている内容の著作権は、原則として弊社に帰属します。著作権法により、弊社に無断で転用、複製、転売等することはできません。但し、個別に条件が提示されている場合は、当該条件が優先するものとします。

講師プロフィール

株式会社インベストラスト代表取締役

国際テクニカルアナリスト連盟 国際検定テクニカアナリスト

勸角証券(現みずほ証券)を経て、DLJdirectSFG証券(現楽天証券)に入社。同社経済研究所チーフストラテジストに就任、現在、投資教育サイト「itrust(アイトラスト)」を運営し、セミナー講師を務めるほか、毎日マーケットコメントを発信。また、大前研一氏のビジネス・ブレイクスルー大学資産形成力養成講座の講師を務める。

テレビ、ラジオでは、日経CNBC「朝エクスプレス」、テレビ東京「モーニングサテライト」、TokyoMX「東京マーケットワイド」、ラジオ日経「ウイークエンド株」、「スマートトレーダーPLUS」などの番組にレギュラー出演中。また、四季報オンラインやダイヤモンドZAIなどのマネー雑誌にも連載を持つ。

「テクニカル分析 最強の組み合わせ術」2018年6月発売（日本経済新聞出版社）、「ど素人が読める株価チャートの本」（翔泳社）、がそれぞれ台湾で翻訳され出版される。また「テクニカル分析 最強の組み合わせ術」が台湾で増刷されるなど大好評。「実力をつける信用取引 売買戦略からリスク管理まで」（パンローリング）、「新取引ルール対応 信用取引の基本と儲け方ズバリ！」（すばる舎）、「FX一目均衡表ベーシックマスターブック」（ダイヤモンド社）など多数。

テクニカル指標の特許「注意喚起シグナル」を取得、投資&ビジネスメモツールi-tool（アイツール）を提供中。

アイトラストホームページ：<https://www.itrust.co.jp>（会員募集中！）

注意喚起シグナルを搭載したアイチャートは、株式会社ストックウエザーが提供中。

アイチャートホームページ：<https://www.stockweather.net/>

（2021年12月2日現在）

目次

- 指数の現状分析と今後の動向について
 - 日経平均
 - TOPIX
 - 予想される年末年始の動向のまとめ
- 業種別指数の現状分析と今後の動向について
 - 新型コロナ関連で悪影響を受ける業種：空運、陸運
 - インフレで利益を上げそうな業種：鉱業、石油・石炭、卸売
 - 巣ごもり関連の業種：その他製品、
 - ハイテク関連：電気機器
 - ディフェンシブ：情報・通信
 - サプライチェーン問題で揺れる業種：輸送用機器
 - 既に大きく動いた業種：海運
 - 予想される年末年始の動向のまとめ

日経平均株価（月足） MA & モメンタム & トレンドライン



日経平均株価（月足） MA & フィボナッチリトレースメント



TOPIX (月足) : MA&モメンタム



TOPIX (月足)

MA&フィボナッチリトレースメント



予想される年末年始の動向のまとめ

- **日経平均**

- (トレンド&水準分析)

- サポートライン上を維持できるか
 - 23.6%押し水準を維持できるか

- (モメンタム分析)

- 低下が続いた場合は下落の加速に要注意

- **TOPIX**

- (トレンド分析)

- 12ヵ月移動平均線上を維持できるか
 - 23.6%押し水準を維持できるか

- (モメンタム分析)

- 0ラインを割り込んだ場合は下落の加速に要注意

業種別指数の現状分析 と今後の動向について

新型コロナ関連で悪影響を受ける業種①



新型コロナ関連で悪影響を受ける業種②

陸通業



インフレで利益を上げそうな業種①



インフレで利益を上げそうな業種②



インフレで利益を上げそうな業種③



巣ごもり関連の業種



ハイテク・半導体関連①



ハイテク・半導体関連②

精密機器



ディフェンシブ



サプライチェーン問題で揺れる業種



既に大きく動いた業種



予想される年末年始の動向のまとめ

- 上ヒゲを形成している業種は、月末に戻せないようだと、年始も安い可能性あり
- 過去の安値やサポートとなる移動平均線などに接近している業種は、割込まずに下げ止まるかが反発のカギ
- 上値を抑えられている業種は、移動平均線などの抵抗を突破できるかが上昇トレンド入りのカギ